

会 議 録

1 会議名

令和3年度第13回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

松ヶ峯温泉ひばり荘の休止について

令和3年度中郷区地域協議会活動報告会について（結果）

（2）協議（公開）

新たな自主的審議事項について

（3）その他

委員の辞職について

3 開催日時

令和4年3月25日（金）午後6時00分から午後7時30分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：荒川清尊、岡田龍一、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、
松原功、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一

・高齢者支援課：小林元課長、橋本慎一副課長

・事務局：名倉浩中郷区総合事務所長、内藤香織次長（総務・地域振興グループ長
兼務）、宮尾広幸市民生活・福祉グループ長、教育・文化グループ長
総務・地域振興グループ・内田明浩班長、田村結花主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【内田班長】

- ・ 会議の開会を宣言

【竹内（靖）会長】

挨拶

【内田班長】

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

会議録確認：「岡田龍一」委員と「竹内昭彦」委員に依頼。

報告事項(1)の「松ヶ峯温泉ひばり荘の休止」について事務局の説明を求める。

【名倉所長】

ここ数年のコロナ禍の影響により利用客が激減していることから今回休止することとなった。営業時間を短縮するなどして経費節減に努めてきたが、既にコロナの第6波となっており、収束の目処がつかず経営状況を圧迫していることから、やむを得ず休止の判断となった。再開の時期については、今の状況から確約はできないが、コロナが収束して元の生活に戻り、地域の皆さんが安心して利用できる状態になるまでと思われる。担当課である高齢者支援課の小林課長からも補足説明をする。

【小林課長】

ひばり荘は、以前は公設という形で高齢者支援課が担当し、平成27年度から民設民営という形でオープンしているが、施設整備の際に市が補助金を支出している。

1年ぐらい前から、経営者のメディカル&ケアから相談を受けており、コロナが収束すれば営業を続けられるのではないかとということで営業努力を続けてきたが、やはり難しいという形になった。

これまで支援していた経緯から、休止することについて市としても判断をしなければならなかったが、市の他の温浴施設、例えば板倉区のやすらぎ荘、牧区の深山荘なども軒並みお客さんが少なくなっている。また、三和区の米本陣は、昨年、休止をし、その後、運営をしていた第3セクターの会社が解散したという状況にある中で、ひばり荘を休止することについて承認するという判断をした。

市も公費も投入しているので、何とか再開に向けて、引き続きメディカル&ケアと話を続けていきたいと考えている。

【竹内（靖）会長】

ひばり荘については、勝馬基金を活用し、解体に補助金を出しひばり荘が2億円くらいの投資をして建て替えた。建て替えた当初は松ヶ峯温泉を盛り上げようと、試行錯誤していろいろやってきたが、このコロナ禍が続く中では継続していくことができないという判断がされたということ。

先般、メディカル&ケアの温泉・温浴事業部部長が私を訪ねて、社長、会長の経営側の判断として、一旦休止させて欲しいと言われた。話の中で、従業員も、再開の目処がついた時には、もう一度、中郷の地域の温浴施設として盛り上げられるようにしたいと、涙ぐみながら、今回の休止はすごく切ない思いであると話されていた。

我々も、もっと活用方法を地域全体で考えて、少しでもサポートしてあげられればよかったかなという反省点もある。建てたときに12年は継続するという約束だったが、一旦休止し、再開時にはサポートできるような体制づくりを地域の人間として考える必要もある。

再開する時期はわからないが、それまでの間、建物のメンテナンス、維持管理をしっかりしていただきたいと、温泉・温浴事業部部長には伝えた。

また、松ヶ峯温泉のお湯自体の問題点も聞いているので、改善策も検討しなくてはいけないし、維持していく上でお金のかかる話も出てくる。一旦休止となるが、メディカル&ケアとは協議を続けながら、再開に向けて連絡を取り続けてほしい。委員の皆さんからも理解いただけたのではないかな。

休止については、総合事務所だよりに掲載されているため、すでに知っている住民もいる。問い合わせがあれば、総合事務所に対応していただきたい。再開に際しメディカル&ケアと意見交換できる機会も設けていただきたい。

【小林課長】

必要に応じて皆様とも連絡や話し合いはさせていただきたい。

【竹内（靖）会長】

ひばり荘の休止についての報告事項は、以上で終わる。小林課長、橋本副課長は退席となる。

続いて、報告事項(2)令和3年度中郷区地域協議会活動報告会結果について、事務局より説明を求める。

【内田班長】

資料No.1に基づき説明

【竹内（靖） 会長】

今ほど事務局からの説明のとおり、総勢 102 名という大勢の方々から来ていただき本当にありがたかった。

第 1 部に関しては、私どもの説明で、特に問題なかった。

第 2 部について、来ていただいた方からも「非常によかった」という声をたくさんいただいた。特に、さとまる学校、高齢者関係について、地域の課題に向き合う非常に大切なことだという声が多かった。また、中学校のスキー大会の報告について、中郷のスキー文化の発展や子どもたちの頑張りが評価されただけでなく、出場した子どもたちから直接報告を受けるといった形が、他の協議会ではないということでも評価され、よかったと思う。第 3 部については、資料に書いてあるような意見があった。

報告会全体について、反省なり改善策などについて、少しお話をいただければ、次回につなげたいが意見はないか。

【陸川（昇） 委員】

最初、意見等何も出ない時間があった。あらかじめ段取りをしておくことも必要だと感じた。

【竹内（靖） 会長】

いきなり何かありますか、と始めると意見等を出しにくい雰囲気にもなるので、前もって質問票を配るなどの工夫が必要。

【竹内（昭） 委員】

全体的には良かった。意見が出なかった場合や、意見が欲しい場面での振り方を考えてもよいのでは。

【竹内（靖） 会長】

今回、第 3 部に関しては、成り行きに任せて進めたので、来年実施するときは、事前に協議し、皆さんの心の準備も必要かと思う。

【宮川委員】

意見を言いたい人はいるが、その場で聞くとなかなか意見が出ない。事前にアンケートをとって、出てきた内容に対し地域協議会としての考えを伝えるなどの方法が良いのではないか。その場で言える人は、決まった人になってしまう。

【高橋（達） 委員】

せっかくこれだけ大勢の市民が来てくれたし、若い方も結構来ていたので、第 3 部

の時間がもう少し取れたらよかったと思う。

【岡田委員】

全体的には良かった。言いたいことがある人はたくさんいると思う。言いづらい雰囲気なども考えアンケートを取ってみてはどうか。

【竹内（靖）会長】

アンケートは良い方法だと思う。当日、終わった後で直接、私のところに意見を言ってきた方もいた。性格的に言えない、手を上げにくい人には紙に書いてもらう形は良いと思う。

【高橋（京）副会長】

は一とぴあ中郷のような大きな会場は、やはり意見を出しにくい。日ごろから、もう少し小さな会場で腹を割って話し合える場があるとよいと感じた。

【竹内（靖）会長】

今回は、中川市長に来ていただいたということで、参加者も多く、普段ちょっと感じないような緊張感もある中だったと思う。高橋副会長が言われたとおり、普段の住民との意見交換が我々の土壌になると思うので、令和4年度は、できるだけ市民の意見を形に変えるような動きにしたい。

第3部の意見交換では、資料にまとめてもらったとおりの意見が出た。通学路については、街路灯の整備について市の仕組みを知る機会にもなり、質問者も喜んでいて、

スクールバスについては、冬は特に危険な箇所がたくさんあり、今後、地域協議会としても取り組んでいく必要がある。中郷に長く住んでいる方はその場に応じた配慮した運転ができると思うが、他地区から来られた方は、そうはいかないので、対策が必要ではないかと感じている。

農業に関しては、荒川委員、竹内委員、陸川委員あたりに話を振りながら進めてもよかったと思う。

流雪溝については、個人的な考えとして、10年、20年前の利用価値と現代では異なってきているので、高齢世帯が増えている状況を考えた対応が必要だと思っている。

調整交付金については、地域協議会として認識が低く勉強する必要がある。発言された方は、北関東防衛局とも直接やりとりされているため知識も豊富と感じた。ただ、使い道として、中郷区の本当に必要なことに使えるような議論が必要になる。地域協議会として一町内会の意見を取り上げることは、違うのではないかと感じている。

調整交付金について、どう考えるか。

【高橋（達）委員】

町内会が、防衛省と調整している内容と市の調整交付金は別ではないか。行政と調整しながら、我々も勉強して次年度の要望などをまとめられたら良いと思う。あくまで、総合事務所をとおして進んでいくことが大事である。

【竹内（昭）委員】

演習場内に土地を持っている地域の役員として、防衛省と話す機会はある。一番広い土地を持っている町内会が話の中心になっている。ただ、この話と調整交付金は別の話で、調整交付金は中郷区全体で使えるお金として話し合っていくべきである。

【竹内（靖）会長】

町内会に入るお金と調整交付金は違うもので、自主的審議事項として調整交付金の使い方とあり方を勉強し、本気になって議論する必要がある。できれば、地域協議会も防衛省と直接話をする機会をいただき、各町内会長なども交えて有効に使う方法を探りたい。

これから明確になってくると思うが、市が目指す自治区の関係と、調整交付金の使い方について、どちらかに絞って審議していくか両方とも審議が必要かなど、いずれにせよ、住民の方と色々な形で意見交換する必要がある。

若い委員の方はどう感じているか。

【村越委員】

詳しくないので、勉強したい。

【陸川（陽）委員】

以前、前村山市長が中郷に来られた時に、ある方が中郷にはあったかいお金があるなどと言っていたことを思い出した。そのことかなという程度の認識であり、そういうお金があるのならルールを決めたほうが良いと思う。

【竹内（靖）会長】

私自身、地域協議会委員になったときに調整交付金は、学校建設や消雪パイプなどのハード整備に使ってきたという話を聞いた程度の知識だった。今の時代を考えると人が暮らしやすくするために知恵を出し、有効に活用すべきお金だと思う。

令和4年度の自主的審議事項として取り組むことかどうかを見極めながら、みんなでディスカッションしていきたい。

出てきた意見をみんなで勉強して、地域協議会、総合事務所、市役所と一緒にあって形にするような方向に進みたい。いずれにしても、予算化するまでの協議の場所が地域協議会になるのではないかと考えている。

【松原委員】

会長の言葉どおりだと思うが、確かにこれまでの調整交付金の使い方で暮らし易くなったとは思いますが、一方で人口は増えていない。子どもがある程度大きくなると、直江津や春日山に移る人が多い。なぜ、中郷を離れてしまうのか。3代目、4代目となる中小企業の社長さんも中郷に家を建てない方が増えている。そういう問題にも着目しなければならない。ある調査では、20代後半から30代の女性が多く住んでいる地域は人口減少がないと聞いた。県内では粟島浦村が該当し、人口がわずかだが増えている。

小学校に入学する人数は、11年前に初めて30人を切り、去年は17人くらいになった。本当に危機的な問題で、今住んでいる人たちが離れたくないような地域づくりを考えなくてはいけないのではないかと。

【竹内（靖）会長】

それぞれの立場によっていろんな分野に思い入れが違ってくるが、皆さんの意見を聞くことが大事である。

令和4年度に調整交付金のことをどう進めていくか、どんな事業を要望するか、ふんどしを締め直して取り組むと同時に、地域の皆さんにも調整交付金を知ってもらう必要がある。これから取り組むことを引き継いでもらうためにも、特に、20代30代の人に伝えていきたい。

【岡田委員】

町内会で防衛省からもらっているお金は賃料である。調整交付金は、それとは別になるので、中郷区全体で使うべきお金だと思う。地域協議会として、どうしていくかの方向付けをし、次世代へつないでいくのが良い。区の皆さんの意見もある程度聞く必要がある。

【竹内（靖）会長】

令和4年度の自主的審議には、調整交付金についての土台作りから始めると同時に、今後、市から説明があると思う地域協議会の在り方や自治区制度と併せながらしっかり方向性を確認したい。

また、通学路の危険性やスクールバス乗車の問題についても、報告会の後、多くの意見をもらっている。

【高橋（京）委員】

通学路の危険性について、子どもが減ることで集団登下校ができない状況になっている。私の孫もいずれ中郷小学校に入学するが、同級生は地域が異なるため 1 人での登下校になる可能性が高い。この問題に自分自身が直面すると、より切実な問題だと感じる。住んでいる人の幸せにつながる話し合いが必要である。

【竹内（靖）会長】

調整交付金について添付資料No.2 の説明を求める。

【名倉所長】

資料No.2 に基づき説明。

【竹内（靖）会長】

後藤一枝委員の辞職について報告を求める。

【内田班長】

令和 2 年 12 月に当人から事務局への申し出を受け、会長を含めた中でのそれ以降の経緯を説明。

令和 4 年 2 月 19 日に辞意が伝えられ、会長及び事務局で協議した結果、止むを得ないとし、3 月 18 日付けで辞職願の提出があった。

委員の補充については、市長が選任することで事務を進めている。公表できないが、候補者はいる状況である。

【竹内（靖）会長】

これをもって、本日の会議を終了する。

次回は、4 月 27 日（水）午後 6 時 30 分から「中郷コミュニティプラザ」で行う。

（終了 午後 7 時 30 分）

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411（内線 165）

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください